

●市内全体の傾向

味間、城南地区においては近年宅地開発が進められ、住宅建設件数が他地域に比べ多い。これは住民の中で利便性を求めるニーズが高く、ICや駅周辺、また商業施設が比較的集まっている西部地区に集中してしまうことが要因である。また都市計画上の開発の制限が、市内の一部の地区以外で開発が進まない要因の一つとなっていると考えられる。

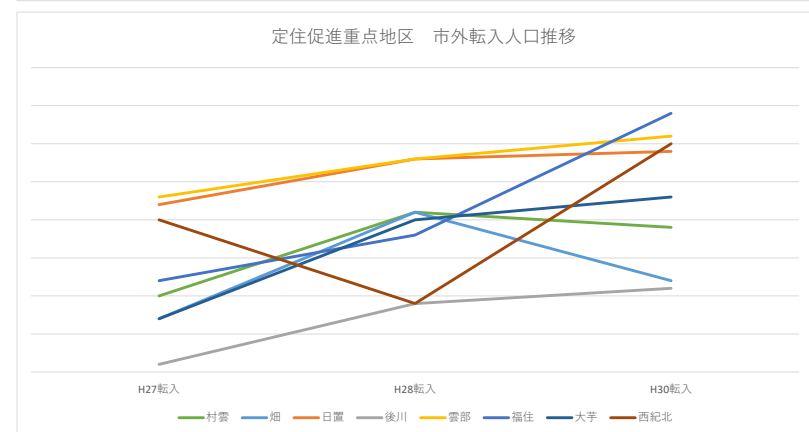
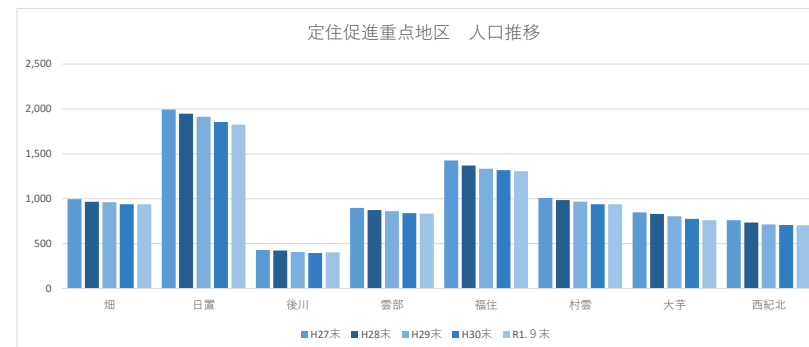
また篠山、味間、城南地区は賃貸住宅が多く、様々な理由により定住せずに転入転出も含め流動的に動く厚く層が存在する。高齢者層の移動はほとんどが施設への入所によるものである。

●市内における西部（味間、城南）への人口流動について

近年人口が増加傾向を示しているのは味間地区（H27.6～R1.9で230人増）のみである。東部から西部へ移動する人口が増加していると仮定していたが、移動者数はほぼ横ばいである。また地区の人口中の転居割合からみても東部から西部への移動が目立って多くないことがわかる（篠山地区との比較）。しかし、これは住基ベースのデータからの考察であり、西部以外に実際に居住する若者世代の人口はより少ないと推察する。

●定住促進重点地区の傾向

市外からの転入については一定の増加傾向が見られるが、市内転居による移動の数には変化が見られない。市外からの転入する方にとっては魅力的な地区や十分な補助と認識されていても、定住促進地区に育ちながら一度出た方のUターンが極端に少ないことがわかる。また人口が減少し続けているのは自然減による影響が大きく、社会増減については施策による効果が一定見られると推察される。



定住促進地区（福住、村雲、大芋、日置、雲部、後川、畑、西紀北）から西部（味間、城南）への転居数	転居者	総人口	転居率
	(人)	(人)	
H27	39	8,358	0.5%
H28	21	8,128	0.3%
H29	32	7,960	0.4%
H30	40	7,768	0.5%
R1	14	7,710	0.2%

篠山地区（篠山、八上、城北、岡野）から西部（味間、城南）への転居数	転居者	総人口	転居率
	(人)	(人)	
H27	68	11,547	0.6%
H28	77	11,405	0.7%
H29	79	11,223	0.7%
H30	73	11,094	0.7%
R1	30	11,044	0.3%

定住促進地区（福住、村雲、大芋、日置、雲部、後川、畑、西紀北）から篠山地区（篠山、八上、城北、岡野）への転居数	転居者	総人口	転居率
	(人)	(人)	
H27	14	8,358	0.2%
H28	28	8,128	0.3%
H29	21	7,960	0.3%
H30	38	7,768	0.5%
R1	17	7,710	0.2%

地区別の傾向

篠山	全体	年度ごとに一定の傾向なし、微減	日置	全体	減少傾向	大牟	全体	減少傾向	今田	全体	減少傾向
	市外	市外への転出は減少傾向		市外	市外からの転入は転出に比べ少ないが、数は一定		市外	市外からの転入は微増		市外	転出増加しているが、転入増加目立つ
	市内	転居率が高いのは賃貸住宅間の移動によるもの		市内	常に出が多い		市内	市内転居による入は少ない		市内	市内転居（入、出）ともに増加
	その他	味間への転居数が多い		その他			その他			その他	
八上	全体	減少傾向	後川	全体	基本的に移動は家族単位、減少傾向	大山	全体	微減	西紀南	全体	微減
	市外	市外、市内転出ともに増加傾向		市外			市外	転出、転入ともに増加傾向		市外	転入は一時増加、転出は増加傾向
	市内	市内転居（入）増加傾向		市内			市内	市内転居（入）一定数ある		市内	年度ごとに一定傾向なし
	その他			その他			その他			その他	
畑	全体	減少傾向	雲部	全体	減少傾向	味間	全体	増加傾向であったが、現在減少に転じている可能性あり	西紀	全体	減少傾向
	市外	年度ごとに一定傾向なし		市外	市外からの転入微増		市外	転出、転入ともに増加		市外	転出は増加傾向
	市内	市内転居者数が入も出も少ない		市内	市内転居による入が少ない		市内	市内転居（入出）ともに増加		市内	年度ごとに一定傾向なし
	その他			その他			その他	微減		その他	
城北	全体	減少傾向	福住	全体	減少傾向	城南	全体	年度ごとに一定傾向なし	西紀北	全体	減少傾向
	市外	市外転出過多は社宅によるもの ex.)三井ミーンハナイト、チバガイギー		市外	市外からの転入は微増		市外	年度ごとに一定傾向なし		市外	転入は増加傾向
	市内			市内			市内			市内	市内転居（出）過多
	その他			その他			その他			その他	市営住宅の入退去による移動が多い
岡野	全体	減少傾向	村雲	全体	減少傾向	古市	全体	微増		全体	
	市外	市外転出過多（県住（吹上鉄筋）等 賃貸物件からの転出が多い）		市外	市外からの転入は微増		市外	篠山学園の生徒による転入増加		市外	
	市内	市内転居による入は増加傾向だが、 出も同様に増加		市内	市内転居による出は微増		市内	市内転居（出）増加傾向		市内	
	その他			その他			その他			その他	